

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(福 西) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的な生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ提供 ・学習時間の設定 ・午睡時間の設定 (夏休み) ・出席確認 ・下館指導 ・昼食の提供 (ランチデー) ・手洗い・消毒指導 ・日直活動 ・挨拶 ・掃除活動 (ロッカーそうじデー) ・統合育成記録簿の作成 ・個人記録簿の作成 (児童台帳の裏) 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ提供については、職員が配膳し食べ終えた子どもから随時片付け。後半は、帰館した児童からセルフでおやつをとる形式にし、おやつの時間をスムーズに過ごせるようにした。 ・土曜日や出席人数が少ない時は、2階育成室のみで過ごした。 ・入会時に、館から自宅までの下館路を確認し、保護者・子ども共に帰り道の共通理解ができるようにした。子どもの安全確保のため4月初帰りのグループ毎に職員がついて下館指導を行い、子どもたちが集団で帰る意味を認識できるよう指導。職員が地域の状況や危険箇所の把握をする上でも役立ったと思う。 ・ランチデーは、長期休業中に行った。希望された家庭のみで行い保護者の負担軽減になるという声があった。 ・昼食時やおやつ前後、帰館後は必ず手洗いをするよう指導した。 ・帰りの会に3年生が日替わりで司会を担当。時間があれば、紙芝居を読んだりゲームをしたり工夫をしていた。 ・「ただいま」「さようなら」など、基本的な挨拶を自ら行えるよう指導した。 ・各自のロッカーを整理整頓し、子ども同士で確認し合う。みんなで児童館をきれいにしようという意識を身につける。 ・統合育成記録簿を作成し、過去～現状を把握した上で今後の見直しをもって支援をしていけるように意識をできた。 ・情報共有ができるように、気になったことを児童台帳の裏に記入した。また、その都度職員館で情報共有した。
子 ど も 育 成 機 能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入会式 ・学年会議・班会議 ・誕生会 (誕生会係) 取組み ・3年生お楽しみ会に向けての取組み ・3年生おでかけ (キッザニア甲子園) ・進級おめでとう会 ・1年生ピクニック ・Tシャツ染め ・みんなあそび ・スペシャルほっとひろばに向けて ・おいもほり ・グループホームかたぎはらとの交流 ・修了行事 (お別れ遠足: 太秦映画村) ・修了式&なんでも発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・式には新入会児童と保護者、代表の上級生が参加した。 ・班会議時に班のみんなで目標を決めた。学年会議では、学年毎に目標を決めた。 ・3年生が進行し行った。誕生月の子のインタビューをクイズにし、参加型で行う。毎回盛り上がっていた。 ・3年生のお楽しみ会にむけては、3年生としての役割を事前に確認することで意識を高めた。今年度は、館外に行きたいという意見と、室内でダンボールあそびをしたい意見にわかれたので、両方行い皆が納得できるよう進めた。館外活動では、全員一致でグループはくじ引きで決めると言い、誰とでも仲良くできていた。 ・当日は少人数のグループで行動しお仕事体験をした。予定通りのプランでは中々動けなかったが臨機応変に、グループの子の意見も尊重しながら行動できていた。 ・1年生の紹介や、遊びの紹介を行った。 ・1年生への交通ルール指導も合わせて実施。外遊びのルールを伝えながら、屋外でしかできない遊びを楽しんだ。 ・保護者懇談での親子製作に加え、夏休みの間を利用し、オリジナルTシャツを作った。 ・実習生によるみんなあそびを実施。9マス鬼ごっこを行い、その後も自由あそびで取り入れていた。 ・夏休みに乳幼児親子とふれあう会を設けた。参加児童は事前に手遊び等を練習し当日も積極的に交流できた。 ・地域の方と一緒に畑のさつまいもを収穫する。 ・グループホームかたぎはらに行き高齢者の方とクリスマスの交流する。 ・1年間過ごした仲間との思いで作りを兼ねて、館外活動を実施。縦割りのグループで周り、互いに刺激になった。子どもたちからも楽しかった、また行きたい、という声があがっていた。公共の場、バスでのマナー等伝える機会になった。 ・1年間の締めくりに、修了証書と記念品を手渡した。昨年度までは各学年ごとだったが、今年度は全員で行った。今年度は、式の後に発表会を行い、有志で「ダンス」「お手玉ダンス」「こま」「リコーダー」を披露した。併せて、各クラブで1年間それぞれ取り組んで頑張ったことの表彰も行った。
子 育 て 支 援 機 能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブだよりの発行 (保護者・小学校など) ・保護者アプリ「さくらdays」の活用 ・個別対応・個別相談 ・学童クラブ登録説明会 ・学童クラブ入会説明会 ・保護者懇談会 ・個人懇談会 ・小学校・保育園との連携 ・はぐくみ室・児童相談所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の学童クラブだよりに、行事・取り組みや保護者へのお願い等を載せた。裏面に日頃の様子も写真で掲載した。写真の掲載がNGの場合は、年度当初に渡す児童台帳に記入してもらい、職員で確認をして発行した。 ・日々の出欠確認は7月からアプリで行うようになった。入室時間がタイムリーに保護者に伝わり安心できるという声があった ・ICTによる学童クラブの利用申請方法の説明会を行った。新入会の方と顔を合わす機会となった。 ・入会が決まった家庭に対し、学童クラブでの過ごし方等の説明会を行った。 ・夏休み前に保護者懇談会と、冬に個人懇談 (1年生は全家庭対象、2年生以上は希望家庭) を行った。夏休み前の懇談会は例年出席者が少ないため、親子イベントを組み込んだ (Tシャツ作り)。親子で体験する貴重な時間になった。個人懇談会では、館での様子と家での様子等を情報交換することができ、ゆっくりと話をする機会をもてた。 ・保育園との懇談会では、入会前に児童の園での様子等を聞いたことで、事前に個々の様子を把握することができた。小学校との懇談会では、子ども達の様子について双方の様子を1・2・3年生の担任と交流する機会をもった。館とは違う学校での様子を知る事ができ、また児童館での様子を伝えることができて良い機会となった。また、日頃から情報共有をして連携することにつながった。 ・日頃よりはぐくみ室とも情報共有ができ、支援が必要な家庭に対し適切な対応ができた。

